

2019年10月推薦図書

【危機管理学部 大八木 時広先生】

『大統領とハリウッド～アメリカ政治と映画の百年』村田晃嗣著 中公新書 2019年

政治と文化の関係は歴史的には緊張関係にありました。バイエルン公国の王ルートヴィヒの権力と富を、自らのオペラのために利用した作曲家ワグナー。映画・ラジオ・絵画・音楽をナチのプロパガンダのために利用し尽くしたヒトラー。こうした緊張関係の現代版の一つが、アメリカの大統領とメディア帝国ハリウッドでしょう。著者は映画に造詣が深いことでも知られている国際政治学者の田村晃嗣氏。ハリウッドが作る映画やドラマでは、アメリカの大統領はどう描かれているのか、政界はハリウッドにどう反応するのか。豊富な映画の事例を交えて、われわれの知らないアメリカが浮き彫りにされていきます。映画好きなあなたにもおすすめの一冊。

『チャーチル・ファクター～たった一人で歴史と世界を変える力』

ボリス・ジョンソン著/石塚雅彦、小林泰子共訳 プレジデント社 2016年

みなさんは、ウィンストン・チャーチルを知っていますか。名門貴族の子息、陸軍将校、戦場ジャーナリスト、名文家といったさまざまな顔を持つ人物ですが、その人生のハイライトは、やはり第二次世界大戦下での英国首相職でしょう。アメリカが参戦する前、ヨーロッパで孤独な戦いをナチス・ドイツに挑むイギリス。チャーチルはそのイギリスをいかに導いたのでしょうか。この本は、そんな謎に、さまざまな珍しいエピソードも交えつつ迫っていきます。著者は、作家でもあり、先日、英国首相に就任したボリス・ジョンソン氏です。ジョンソンの政治家としての資質はともかく、この本は本国以外でも高い評価を得ています。一読の価値あり。

『世界を変える STEAM 人材～シリコンバレー「デザイン思考」の核心』

ヤング吉原麻里子、木島里江著 朝日新書 2019年

みなさんはどんな未来を作りたいですか。世界をどう変えたいですか。そのためにはどんな人材が求められるのでしょうか。ここで紹介する本は、そんな未来に向けて、これから求められる人材像を STEAM というキーワードを使い、解き明かします。STEAM とは、Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Arts (アート)、Mathematics (数学) という単語の頭文字を組み合わせた造語です。こうやって見ると理系の話みたいですね。しかし STEAM とは、理系、文系、といった既存の領域を超えようとする概念であり、理系の人たちが文系領域を取り入れようといった話ではありません。既存の殻を破ってみたいと思っているあなた。この本はそんなあなたに「気づき」をもたらしてくれるでしょう。